19 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭60-42593

⑤Int Cl ⁴

識別記号 102

庁内整理番号

❸公開 昭和60年(1985)3月6日

F 28 D 15/02

8013-3L

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

知発明の名称

ヒートパイプを有する熱交換器の製造方法

②特 願 昭58-148384

図出 昭58(1983)8月13日

73発 者 武 坂戸市鶴舞 4-19-1

明 ⑫発

昭 綱 川越市笠幡2749-83

⑫発 明 者 沢 昭 雄

上福岡市霞ヶ丘2-3,146-302

砂出

株式会社土屋製作所

湖

垣

東京都豊島区東池袋4丁目6番3号

1. 発明の名称

ヒートパイプを有する熱交換器の製造方法

2. 特許請求の範囲

パイプの問りに、嵌パイプ外径より大きい径 の別口を有する熱交換フィンを揮散、配設し、 パイプの一端から他端に向け外周に前記パイプ 内径より大きい径の切刃を設けた拡管棒を引き 抜き、さらにパイプ両端に蟷板を配設するとと もにパイプ内を敲圧し作動流体を封入し端板を 割止す工程から成るヒートパイプを有する熱交 換器の製造方法。

3. 発明の詳細な説明

本願は、ヒートパイプを有する熱交換器の製 治方法に関する。

ヒートパイプを有する熱交換器は、ヒートパ イブの周りに多数の熱交換フィンを抑設、固着 した構造のものである。

ての熱交換器の従来の製造方法としては、第 1 図のように、まず、中央関ロ1を有しその周

りに立上りフランツ2を設けた平板から成る熱 交換フィン3を多数確重し、次いでヒートバイ ブ4を熱交換フィン3の中央閉口1に圧入し~ 体化する工程から成るもの、あるいは逆に、第 . 2 図のように、ヒートパイプ4の外局に、熱交 換フィン3を順次圧入し一体化する工程から成 るものがある。しかしながら、いずれの方法の 場合にも次のような欠点がある。すなわち、上 記のような圧入工程を有するものでは、圧入時 に、、熱交後フィン3.に強い力が加わるので、 熱交換フィン3は個単なものを要することにな り、高価なものとなることである。これを改良 するため、圧入工程の代りに、熱交換フィン3 の中央明ロ1をヒートパイプ4の外径より若干 大きくし、抑入を容易にするとともに阿省間の 間際を高分子材の接替剤またはろう材により光 切するようにする方法も考えられる。しかし、 この場合でも接着削またはろう材を各フィン 3 とヒートパイプ4との間に配設するのに手間が 掛り、さらに低熱伝母性の接質剤を用いるとと

特開明60-42593(2)

は、熱交換性能を悪化させることになる。ろう材で一体化するには、ヒートパイプ4を相当高温に加熱する必要があり、ヒートパイプ4の機能に駆影響を与える政れが生じる。

以上のいずれの方法でもその有する欠点は、 複数本のヒートパイプ4を用い、その周りに、 複数の開口を設けた熱交換フィンを配数する場合に、きわめて野者となる。

したがって本願は、バイブの周りに、 数パイプ外径より大きい径の閉口を 設けた 熱交換フィンを押設し、外間に前記パイプ内径より 大きい 後の切刃を殺た 拡管機をパイプー 端から 他 媚に 向け引き抜き、さらに、パイプ 両端に 端板を設け パイプ内を試圧し作動 流体を封入する 工程から 成る 製法により、上記欠点を解消させたものである。

実施例により説明すると、まず、第 3 図のように、両端が開放する銅、アルミ等の金属製パイプ 5 の周りに、中央開口 6 を有しその周囲に立上りフランジ7を有する熱交換フィン8を揮

留 し、 パイプ 5 外 周 と 熱 交 換 フィン 8 の 中 央 明 日 6 の 立 上 り フ ラン ジ 7 と が 緊 密 に 道 接 接 合 する。 同 時 に 、 パイプ 5 内 壁 に は、 拡 管 移 10 の 切 刃 9 に よって、 反 手 方 向 に そ っ た 複 数 の グ ルーブ 14 が 形 成 さ れ る ことに なる (第 5 図)。 こ の グ ルーブ 14 は 、 作 動 流体 を 選 流 さ せ る ウィック と しての 機 能 そ も た ら す も の で ある。

以上のように本発明の製法によれば、ヒート

パイプと熱交換フィンとを圧入することなく、
きわめて容易に接合できる。また、ヒートパイ

アと熱交換フィンとは、接着剤を介することな
く直接接合することになるから、熱交換フィン
とヒートパイプとの熱伝導が良好となり、熱交換性能を高める。さらに、ヒートパイプの形成は、熱交換器の製造過程でその和付時に同時になされるから、ヒートパイプの形成では、熱交換器製造の一貫生産システム化を可能にする。

第1回、第2回は、従来のヒートバイブを有 する熱交換器の製造工程を示す関、第3回~第 投、 数層 する。 熱交換 フィン 8 の中央 明 口 6 の内 径 は、 バイブ 5 の外 径 よ り 若 干 大 き め に 投 定される。 す なわ ち、 こ の 値 は 熱交換 フィン 8 をバイブ 5 に圧入するのでなくスムースに 押 股でき、 かっ 熱交換 フィン 8 が バイブ 5 外 例に 保 待されるに十分な 寸 法 で あり、 適宜 最適の 値に 選定される。

次いで、外周に多数の切刃9を設けた拡管枠10を、バイブ5の一方路放端からバイブ5内に 矩股し他方開放端へ向け引き抜く。ここで、拡管操10の外径つまり切刃9の位配する外周前の 外径は、バイブ5内径より若干大きい低に設定

さらに、パイプ 5 内を洗浄した後、パイプ 5 の両端を端板11、12で貼封し、端板12に取けた吸引口13から空気を吸引しパイプ 5 内を度空にし、内部に水、アルコール等の作動流体を封入し端板12の吸引口13を完全に封止する。

上記拡管様10の引き抜き工程において、バイブ 5 内を拡管様10が貫通すると、バイブ 5 は拡

5 図は、本発明の製法を示す図である。

5 … … パイプ

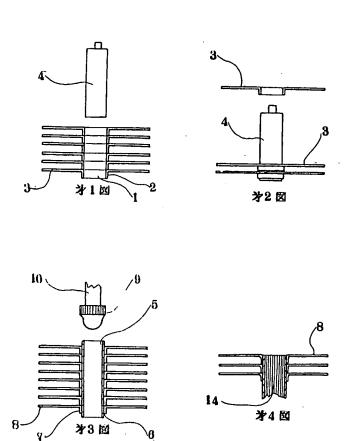
8 … … 熱交換フィン

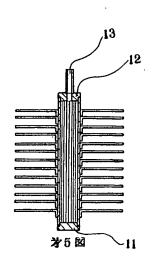
9 … … 切刃

10 … … 拡 質 棉

14 1 1 - 7

特開昭60- 42593 (3)





PAT-NO:

JP360042593A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 60042593 A

TITLE:

METHOD TO MANUFACTURE HEAT

EXCHANGER OF HEAT PIPE TYPE

PUBN-DATE:

March 6, 1985

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

YOKO, TAKEJI

NAKAGAKI, AKIZUNA

MIYAZAWA, AKIO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

TSUCHIYA MFG CO LTD

N/A

APPL-NO: JP58148384

APPL-DATE: August 13, 1983

INT-CL (IPC): F28D015/02

US-CL-CURRENT: 165/104.26

ABSTRACT:

PURPOSE: To easily joint heat exchanger fins to a heat pipe without press fitting the heat exchanger fins to the heat pipe or using any bonding agent, by pulling a pipe expansion rod, which is provided with cutting edges and of which diameter is larger than the inner diameter of a pipe, out of the opening of a heat pipe.

CONSTITUTION: Heat exchanger fins 8 are put around the outer wall of a metallic pipe 5 of which both ends are open, and the fins are laminated around the pipe. The inner diameter of an opening 6 in the center of a heat exchanger fin 8 is made a little larger than the outer diameter of a pipe 5, that is, the inner diameter should be determined to the optimum value in order to smoothly put the heat exchanger fin 8 around the pipe 5, and to hold it on the outer periphery of a pipe 5. Then a pipe expansion rod 10 is inserted into the pipe 5 from its one open end and is pulled out from the other end. A band of cutting edges 9 of which diameter is larger than the inner diameter of a heat pipe is provided around the pipe expansion rod 10. Both ends of a pipe 5 are sealed by end plates 11 and 12, and the inside of a pipe 5 is vacuumed by sucking the air from a sucking port 13. Then operating fluid is injected inside and the sucking port 13 is closed by sealing. Grooves 14 formed on the inside wall of a pipe 5 by the cutting edges 9 of a pipe expansion rod 10 function as the wick of a heat pipe.

COPYRIGHT: (C)1985, JPO&Japio

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

60-042593

(43) Date of publication of application: 06.03.1985

(51)Int.CI.

F28D 15/02

(21)Application number : 58-148384

(71)Applicant: TSUCHIYA MFG CO LTD

(22)Date of filing:

13.08.1983

(72)Inventor: YOKO TAKEJI

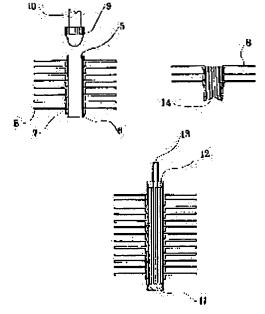
NAKAGAKI AKIZUNA MIYAZAWA AKIO

(54) METHOD TO MANUFACTURE HEAT EXCHANGER OF HEAT PIPE TYPE

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily joint heat exchanger fins to a heat pipe without press fitting the heat exchanger fins to the heat pipe or using any bonding agent, by pulling a pipe expansion rod, which is provided with cutting edges and of which diameter is larger than the inner diameter of a pipe, out of the opening of a heat pipe.

CONSTITUTION: Heat exchanger fins 8 are put around the outer wall of a metallic pipe 5 of which both ends are open, and the fins are laminated around the pipe. The inner diameter of an opening 6 in the center of a heat exchanger fin 8 is made a little larger than the outer diameter of a pipe 5, that is, the inner diameter should be determined to the optimum value in order to smoothly put the heat exchanger fin 8 around the pipe 5, and to



hold it on the outer periphery of a pipe 5. Then a pipe expansion rod 10 is inserted into the pipe 5 from its one open end and is pulled out from the other end. A band of cutting edges 9 of which diameter is larger than the inner diameter of a heat pipe is provided around the pipe expansion rod 10. Both ends of a pipe 5 are sealed by end plates 11 and 12, and the inside of a pipe 5 is vacuumed by sucking the air from a sucking port 13. Then operating fluid is injected inside and the sucking port 13 is closed by sealing. Grooves 14 formed on the inside wall of a pipe 5 by the cutting edges 9 of a pipe expansion rod 10 function as the wick of a